

第 64 回 日本 P T A 全国研究大会 参加報告書

富士市 P T A 連絡協議会

会 計 上野英樹

第 64 回日本 P T A 全国大会徳島うずしお大会に参加させていただきました。

メインテーマとして掲げられたのは、『家庭と学校の連携のもとに地域社会全体の教育力を生かした P T A 活動』、『健やかな心と思いやる心をもつ子供を育てる P T A 活動』、『大人がともに学び交流し合える P T A 活動』でした。

1 日目の分科会は鳴門市文化会館で行われました特別第 1 分科会に参加いたしました。

研究課題は、『子供を取り巻く課題の解決にむけて、～人と人の結びつきとコミュニケーション～』女優の水野真紀氏の講演、パネルディスカッション等が行われました。

今の子供たちのコミュニケーションのとりかたはメールや SNS などを通してとっていることが多くなっていると思います。

私たちが子供とメールやラインなどで連絡をとることが多く対話がへり家庭環境の中でもコミュニケーション不足が指摘されています。

相手の目を見て、表情をみて、自分自身の耳で聞く、直接相手とコミュニケーションをとることにより回避できるトラブルは多々あります。

相手の態度から感じ取れることがたくさんあるのではないかと思います。

2 日目は徳島市のアスティ徳島で行われた全大会に参加いたしました。

「輝く未来をひらくために大切なこと」～子供たち、そして私たちが自立するために～を演題に竹宮恵子氏の記念講演が行われました。

私自身、保護者としてまだまだ勉強しなければならないなど実感させられる講演でした。通信技術の発達によりメディアは多様化し、日常の生活環境が大きく変わってきています。便利な世の中にはなっていますが、その反面直接子供たちと接する事が減ってきています。

まずは私たち保護者がいろいろな状況を把握して、子供たちがうまくコミュニケーションがとれるように導いて行くことが大事ではないかと考えさせられる二日間でした。

この徳島うずしお大会で学んだことを今後の P T A 活動に生かしていきたいと思っています。